

# WebClass Ver.11.7.0 リリースノート

日本データパシフィック株式会社

2019/8/7

## 1 概要

全体的に英語モードでの未翻訳箇所を修正しました。また管理系機能の改善と、学生向けのアンケート結果画面は画面デザインを改めました。

### 1.1 必要な環境

- WebClass ver. 11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.0
- PostgreSQL require 8.4 ~ 9.6

### 1.2 v11.6.0 からのアップデートについて

プログラムファイルの更新になります。時間のかかる DB 更新処理は含まれません。

## 2 主な変更点

### 2.1 アンケート結果画面

アンケート結果を学生に公開する画面を改めました。これまではスマートフォンを想定した画面になっており、また設問形式によってはグラフをうまく表示できませんでした。新しい画面では教材一覧画面と同様に画面幅に応じて表示が切り替わり、1画面に5問分の結果が表示されます。一通りの設問形式でグラフ表示ができます。

この画面はコース管理者も確認できます。

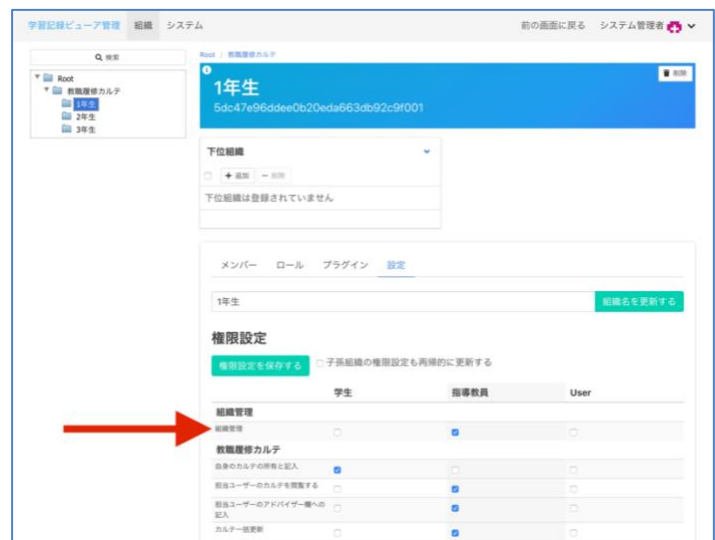




## 2.2 学習記録ビューア

### 2.2.1 組織管理機能

学習記録ビューア管理者が、一部の組織に限定して組織管理権限を他ユーザーに委譲できるようにしました。これまではシステム管理者が組織を一元管理していましたが、一部の組織の管理をその組織専任の監督に任せることが可能です。



### 2.2.2 授業評価アンケートプラグイン

- アンケート管理画面の「備考」を「管理用メモ」と名称変更しました。

- 「アンケート一覧」画面で、授業評価アンケートプラグインが追加された組織に所属しているだけで、その組織の枠で授業評価アンケートが作成できてしまう問題がありました。その組織で「アンケート企画・集計」権限を持っている場合のみ授業評価アンケートを作成できるように修正しました。

### 2.2.3 修学カルテプラグイン

- ・外部評価機能を追加しました。

WebClass アカウントを持っていない学外の人に学生のカルテを公開し、内容を確認してもらったり、アドバイザーとしてコメントをつけてもらったりすることができる機能です。

学生が自身で公開設定を行います。アクセス用 URL が生成されますので、URL とパスワードを外部評価者に伝えます。



- ・ static\_card 内に、メッセージ送信フォームを設置できるようにしました。
- ・ カード内に Markdown で記述したテキストを埋め込むことができるようにしました。
- ・ 印刷用画面の文言やレイアウトの不自然な部分を修正しました。

## 3 変更点詳細

---

### 3.1 コース機能

- 時間割画面
  - 土曜日の列を狭く表示していましたが、各曜日の列が均等の幅で表示されるようにしました。(!1867)
  - 時間割の年度切り替えを、(年+1)まで行えていたものを(年度+1)までに修正しました。(!1850)
- タイムライン
  - メッセージの詳細を開閉するボタンを表示するようにしました。(!1880)
- 教材一覧
  - コース管理者が「教材一覧」画面でコピーや公開設定をしたとき、処理結果を通知するメッセージバーがしばらくすると自動で消える動きになっていました。消えるのが早く確認しづらかったり、エラーメッセージもすぐに消えてしまっていたため、自動では消えないようにしました。(!1821)
  - 表示言語が英語のときに、学生画面の「利用回数」・教員画面の「実行者数」リンクをそれぞれ「Login」・「Executor Count」と表示しており、機能に合わない英語表現だったので、それぞれ「Number of Access」・「Number of users who accessed」に変更しました。(!1832)
  - ロックされているコースをコース管理者が開くと、教材数が4つ以上あるコースではシステムエラーになっていました。教材一覧が表示されるように修正しました。(!1859)
  - 教材一覧画面のタイムラインにおいて、教材を公開したことを通知する投稿の文末が表示言語にかかわらず「を公開」となっていたので、表示言語を「English」にした時に公開された教材の通知は文末は「was published」、「日本語」にした時に公開された教材の通知は文末が「を公開」となるように修正しました。(!1851)
  - 教材やユーザが多いコースで「教材一覧」画面の表示が極端に遅いことがあったため、処理速度を改善しました。(!1870)
  - コース管理者が「教材一覧」画面で公開設定をしたとき、教材にロックパスワードが設定されていて1つも更新できなかったときにも成功のメッセージが出ていました。1つも更新できなかったときは成功の表示をしないようにしました。(!1882)
  - しおりをつけて保存していた時、教材一覧画面での表示を「しおりから始める」に変えました。(!1919)
  - 「'New'マーク」オプションと「日時制限」オプションを同時に設定している教材は、日時制限に関係なく更新日から7日間だけ New マークが表示されてきました。教材の更新日から7日間だけでなく、日時制限の開始日から7日間も New マークが表示されるようにしました。(!1922)
- 教材 オプション設定画面
  - 表示言語が「English」の状態アンケート、レポート、資料、Wiki、ユニット、掲示板のオプション設定画面の「Date & Time Restrictions」のヘルプをクリックした後にポップアップで表示される説明文のタイトルが「Date & Time Restriction」となっており、末尾の「s」が欠けていたので表示させるようにしました。(!1851)

- 表示言語が「English」の状態で見出しのオプション設定画面の「Allow to post as anonymous user」のヘルプを開くと説明文のタイトルが「Permit to posting as anonymous user」となっており、一致していなかったため説明文のタイトルを「Allow to post as anonymous user」となるように修正しました。(1851)
- webclass の表示言語が「English」の状態で見出しのオプション設定画面の[Select from course user]を開くと、画面左の説明文が「1」と表示されてしまっていたので、正しく表示されるように修正しました。(1877)
- 教材 公開状況画面
  - 表示言語が英語のときに、教員画面の「1 回以上実行した学生数」リンクを「Executed Users」と表示しており、機能に合わない英語表現だったので、「Number of users who accessed」に変更しました。(1832)
- テスト・アンケート
  - 学生の「テスト結果画面」とコース管理者の「個人ごとの成績表示」にテストを終えるまでにかかった時間を表示するようにしました。(1819)
  - スマートフォン画面でテストまたはアンケートを応える際、ドロップダウン形式およびマッチング形式の設問の選択肢に HTML で装飾が施されていても、HTML ソースが表示されていました。HTML を反映して表示するようにしました。(1822)
  - 表示言語が「English」の状態で見出しの設問がある単語/数値入力の問題を未回答のまま採点すると、「個人ごとの成績表示」画面やテスト教材の採点結果画面の左フレームや「結果」欄に表示される解答の詳細が日本語になっていたため英語で表示されるように修正しました。(1851)
  - モバイル画面において表示言語が「English」の状態で見出しの問題を未解答のまま採点すると、テスト教材の各設問の採点結果画面の「Correct Answer」欄に表示される解答の詳細が日本語になっていたため英語で表示されるように修正しました。(1852)
  - モバイル画面において表示言語が「English」の状態で見出しの設問のみを含むテストを未解答のまま[Grade]ボタンをクリックすると表示される、未解答のまま採点するかを確認する画面において、「Index」欄に表示される各設問の回答状況が「未解答」と日本語で表示されてしまっていたため英語で表示されるように修正しました。(1852)
  - アンケート結果を学生に公開した時の結果画面を新画面デザインに改めました。(1880)
    - 設問形式によってはグラフ表示が未対応でしたが、一通りの設問形式でグラフ表示できるようになりました。
    - 棒グラフのメモリが読取りづらかったため、グラフの表示を改めてメモリも読み取りやすくしました。
    - 質問の本文に加えて選択肢も表示するようにしました
    - 複数の設問があるときは、5 問ずつ縦に並べて表示するようにしました。
    - コース管理者も同じ画面を確認することができます。
  - モバイル画面でテスト結果を表示した時、ドロップダウン形式、マッチング形式、レベル選択形式の設問では解がない時、「解なし」の表示が英語モードでも日本語で表示されていました。英語表示に切り替わるようにしました。(1920)
- 動画再生

- テスト教材の「問題編集」画面において、**HLS\_OPTION** 有効時、解説変換元ファイルに **mp4** 動画を設定すると **HLS** 動画として保存されるようにしました。(!1836)
- 資料編集画面で **HLS** 利用時に「添付ファイルとしても使う」を選択して、**MP4** を取り込むと **HLS** 配信用の **M3U8** ファイルが添付される仕様を元ファイルの **MP4** が添付されるように変更しました。テスト編集画面で **HLS** の動画を削除してもサーバ上の実データが削除されない不具合を修正しました。(!1869)
- 成績
  - 教材名にカンマが含まれる場合「成績一覧」画面からダウンロードした **CSV** をエクセルで開くと、教材名の見出しの表示が崩れてしまう問題がありました。エクセルで問題なく表示されるように修正しました。(!1889)
  - 教材名にカンマが含まれる場合「進捗状況一覧」画面からダウンロードした **CSV** をエクセルで開くと、教材名の見出しの表示が崩れてしまう問題がありました。エクセルで問題なく表示されるように修正しました。(!1889)
  - 教材名にカンマが含まれる場合「出題分野ごとの成績」画面からダウンロードした **CSV** をエクセルで開くと、教材名の見出しの表示が崩れてしまう問題がありました。エクセルで問題なく表示されるように修正しました。(!1889)
  - **SCORM** 教材の項目の見出しにカンマが含まれる場合「**SCORM** 教材の成績一覧」画面からダウンロードした **CSV** をエクセルで開くと、項目の見出しの表示が崩れてしまう問題がありました。エクセルで問題なく表示されるように修正しました。(!1889)
- レポート一覧
  - コース管理者のコースメニューにある「成績>レポート一覧」のリンクを表示・非表示切り替えることができるシステムオプション **AUTHOR\_COURSE\_REPORTS** を追加しました。非表示に設定すると「レポート/記述式問題の採点」画面の「回答を一覧で表示」も表示されなくなります。(!1815)
- レポート採点
  - 「レポート/記述式問題の採点」画面の[回答一覧を表示]ボタンから開くレポート一括採点画面において、表示言語が英語のとき、「点数」列の未採点を表す記号が日本語の「未」になってしまっていたため、「--」を表示するようにしました。(!1841)
  - 教材の「公開状況」画面よりの「採点する」リンクで開くレポート採点画面において、点数とコメント入力フォームのすぐ上にレポート提出者名を表示するようにしました。(!1883)
- 公開レポート
  - 学生の公開レポート画面を新画面デザインに改めました。(!1866)
- 資料
  - **webclass** の表示言語が「English」の時、資料の編集画面において、「Display Format」の2行目のドロップダウンの選択肢の一つが「Hide manu bar」となっていたので「Hide menu bar」となるように修正しました。(!1851)
- ユニット
  - 合格点の設定があるテスト教材が含まれている時、スマートフォン用の教材開始画面ではテスト教材の合格・不合格が表示されていませんでした。PC用の教材開始画面と同様に合格・不合格を表示するようにしました。(!1908)
- チャット
  - チャットの実行画面において未入力、かつ何もファイルを添付せずに「send」をクリックすると表示言語にかかわらず日本語で「書き込んで下さい」と表示され

てしまっていたので、表示言語が「English」の時は「You should write message.」、「日本語」の時は「書き込んで下さい」と表示されるように修正しました。(1851)

- 出席
  - コース管理者の「出席状況一覧/修正」画面の HTML ソースが 1 行にまとまり過ぎていたため、改行を加えました。動作には変更はありません。(1837)
- ノート
  - コースの「その他 > ノート」のリンクを表示・非表示切り替えることができるシステムオプション `COURSE_NOTE_OPTION` を追加しました。(1815)
- e ポートフォリオ・コンテナ
  - コース管理者が「e ポートフォリオ・コンテナ編集」画面でループリックを削除しても、削除に失敗し、ループリック一覧から消えずに残っていました。また、この操作をしたループリックは中身の表示ができなくなってしまう問題がありました。削除が正しく行えるよう修正しました。(1861)
  - 「教材一覧」画面から e ポートフォリオ・コンテナを「別コースにコピー」すると、コピー処理は正しく終わりますが、続けて画面を切り替えようとした時に「他コースへのアクセスがリクエストされました」というエラー画面になっていました。続けて操作できるようにしました。(1890)
  - 自己評価、相互評価および教師評価を登録する画面では、「保存」ボタンと「前の画面に戻る」ボタンに気づきにくかったため、ボタンの表示サイズと色を変更してボタンに気付きやすくしました。(1903)
- コース管理
  - コースの「利用状況集計」画面で CSV ファイルをダウンロードすると、ファイル名が同じで複数のコースのデータが区別できなくなる問題がありました。ファイル名にコース ID と日時を加え、出力内容にコース ID とコース名を加えました。(1812)
    - 出力する利用時間データの表記が 60 分または 60 秒を超えることがあったため、繰り上げるようにしました。時間は 24 時間を超えることはありません。
  - 表示言語が英語の時に「別コースへ一括コピー」画面で教材のコピーを実行すると、日本語が表示されてしまっている個所があったので英語で表示されるように修正しました。(1838)
  - 学部・学科を設定したコースにおいて、表示言語が英語の時に「コース情報」画面を開くと「学部」「学科」に対応する文字が変数として出てしまう問題が発生していたので、それぞれ「Faculty」「Department」を表示するように修正しました。(1854)
- author または user の権限で閲覧でき、かつ表示するデータの集計期間の開始と終了をプルダウンで設定できるページにおいて、過去何年までさかのぼって集計期間の開始と終了を設定できるかが統一されていなかったのを統一しました。システムオプションの `MINIMUM_SELECTABLE_YEAR_RANGE` で設定できます。システムオプション `MINIMUM_SELECTABLE_YEAR_RANGE` の初期値は 6 です。表示するデータが属するコースの開講年度がそれより古い場合は開講年度までさかのぼって集計期間を設定できます。このシステムオプションの影響を受ける画面は、author の「成績一覧」画面、「進捗状況一覧」画面、「出題分野ごとの成績」画面、「アクセスログ」画面、「学習履歴」画面、「利用状況」画面、「利用状況集計」画面、「e ポートフォリオ・コンテナ評価分析」画面と user の「出題分野ごと成績」画面です。(1803)

## 3.2 システム管理者

- 「利用状況集計」画面で、v10 までは利用者ログイン時刻とレポート提出時刻のグラフデータが CSV ファイルに出力されていましたが、v11 になってから出力されなくなっていました。出力を復活させました。(!1812)
    - 出力する利用時間データの表記が 60 分または 60 秒を超えることがあったため、繰り上げるようにしました。時間は 24 時間を超えることはありません。
  - 「コース&メンバーの一括登録/変更」画面で CSV インポートする時に、既存のコースが多い場合にコース&メンバーのバックアップ CSV 作成処理でメモリ上限エラーが発生するため、コースの総数が 1 万件を超える場合はバックアップ CSV 作成をスキップするようにしました。(!1831)
  - 「システムオプション」画面で更新した際、変更があったオプションを結果表示するようにしました。また、設定項目グループで分けた設定ページを用意しました。(!1833)
  - 「コース&メンバーの一括登録/変更」画面で CSV インポートする時に、学部・学科の指定を空に変更して登録しても、コースの学部・学科指定が更新されずに残っていました。空で指定した場合は、すでに学部・学科の指定があるときは指定を解除するようにしました。(!1886)
  - システム管理者にお知らせ管理権限がないとき、お知らせを開くと投稿のメニューが表示されていました。お知らせ管理権限がないシステム管理者はお知らせの管理メニューが表示されないようにしました。(!1887)- ユーザ管理権限がないシステム管理者でログインしたとき「ユーザ情報検索」画面でユーザの削除や制限ユーザの設定ができていました。ユーザ管理権限がないユーザはユーザの削除や制限設定ができないようにしました。(!1888, !1913)
  - システム管理者が自分のアカウントパスワードを変更するときは「ユーザ登録/変更/削除」画面を使用していましたが、自分のパスワード変更のための画面を別途用意しました。(!1913)
- ログイン画面
    - モバイルモード時、ログイン画面から開くことができるお知らせ画面が、ログイン画面の言語に対応して切り替わっていなかったので、対応して切り替わるようにしました。また PC モード時でも、一覧からお知らせを選んでクリックした画面は、ログイン画面の言語に対応して切り替わっていなかったので、同様に切り替わるようにしました。(!1860)
  - マニュアル
    - 英文を修正しました。(smart phone -> smartphone) (!1844)
    - マニュアル更新 (!1902)
  - その他
    - WebClass が送信するメールのヘッダ To および From の形式を「氏名 <メールアドレス>」ではなく、メールアドレスのみ表示に変更するシステムオプション `MAIL_NOT_SET_DISPLAY_NAME` を追加しました。(!1845)
    - OpenLDAP を使用した LDAP 認証で `LDAP_USERID_CASECHECK=1` に設定していても、`LDAP_USERID` を指定していないとユーザ ID の大文字・小文字が区別されずに認証されていました。`LDAP_USERID` の指定に関わらず `LDAP_USERID_CASECHECK` が指定されているときはユーザ名の大文字小文字をチェックするようにしました。(!1857)



- コース管理者が「レポート/記述問題の採点」画面を開いた時に、レポートをまとめた zip ファイルを作る処理でまれに大量のファイルを zip に取り込もうとしてしまう問題がありました。そのような動作が動いてしまう前にエラーで処理を停止させるようにしました。(1862)

### 3.3 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.1.3 -> 4.2.0
  - 学習記録ビューア管理画面で、ファイルを選択しないと[プラグインインストール]ボタンが押せないようにしました。
  - 英語モード時の英文を一部見直しました。
  - 学習記録ビューア管理者が、一部の組織に限定して組織管理権限を他ユーザに委譲できるようにしました
  - 画面表示にかかる時間を短縮できるようにしました。
- 教職履修カルテプラグイン v2.2.0 -> v2.2.1
- 修学カルテプラグイン v2.7.3 -> v2.9.1
- 授業評価アンケートプラグイン v2.9.3